

2024年10月25日

全国認定こども園協会 会員園 各位
岩手県内認定こども園・保育園・幼稚園 御中

特非) 全国認定こども園協会 岩手県支部
支部長 高橋 博之

2024年度 岩手県支部 第二回保育者研修会のご案内について

紅葉の候 皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本支部の運営につきまして温かいご理解とご支援をいただき心より厚く御礼申し上げます。

さて、このたび全国認定こども園協会岩手県支部では保育者対象に研修会を開催いたします。今回はオンラインに特化し、一つの施設から保育者複数に参加できる形式としました。「安全」をテーマにワークを含めた内容を予定しています。

講師として保育の安全研究・教育センター 掛札逸美氏を招き、保育環境だけではなく、保護者対応、園内での気づきの共有などコミュニケーションの部分も一緒に学ぶ研修会にしたいと考えております。

「安全」についての研修会では、参加した者が認識をあらたにしても園内で認識の共有が難しく効果が出づらいという声も聞きます。オンラインを活用して園内にいながらも複数名が参加することで、各施設での実際の活用につながるのではないかと考えております。「日々、ハザードを見つけ、伝える」ことの大切さに気づき、「気づきを共有することでリスクを下げるきっかけとする」ことにつながればと願っています。ご多用の折とは存じますが、参加ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

講師 掛札 逸美 氏 (保育の安全研究・教育センター)

略歴：心理学博士 (社会/健康心理学)、専門は安全と傷害予防の心理学、コミュニケーションの心理学、行動変容学、コロラド州立大学大学院卒。

著書：「保育者のための「ハザード」教室」(2023)「ペアレント・ネイション」(2022)

「3000万語の格差」(2018)「保育者のための心の仕組みを知る本」(2017)「子どもの「命」の守り方」(2015)「保育現場の「深刻事故」対応ハンドブック」(2014)

特非) 全国認定こども園協会 岩手県支部

岩手県支部 第二回 保育者研修 開催要項

- 1 主催 特非) 全国認定こども園協会 岩手県支部
- 2 後援 岩手県 (依頼予定) 岩手県教育委員会 (依頼予定)
- 3 開催日時 2024年12月20日(金) 昼0時50分より午後4時10分まで(受付昼0時30分より)
- 4 開催会場 Zoom (オンラインのみ)
- 5 対象 保育者 (保育教諭、保育士、幼稚園教諭等)

6 日程及び内容

時間	主な内容
昼0時20分から昼0時50分	受付
昼0時50分から午後1時00分	開会行事 ①開会のことば ②挨拶 ③事務連絡
午後1時00分から午後4時	研修 (180分) 「園環境、園の中にあるモノから見る深刻事故予防 : 各園からいただいた事例をもとに」 保育の安全研究・教育センター 掛札 逸美 氏 ※休憩時間を適宜とります ※講演とワーク (園で気づいた危険箇所について) で構成予定です
午後4時から午後4時10分	閉会行事 ①謝辞 ②閉会の言葉

※事前資料と事前提出用の文書を添付しております。研修参加の参考としてください

7 参加定員 100アカウント (1施設から複数アカウントの申し込み可)

※アカウントとはZoomのアカウントを指します。園内の複数個所でZoomをつなぐ際には、そのアカウント分の参加申し込みが必要です。

- 8 研修会参加費 全国認定こども園協会会員園 1アカウント 2,000円
非会員園 1アカウント 4,000円
※岩手県内の保育三団体所属園 1アカウント 3,000円
- 9 参加申込 2024年12月13日(金) 必着

●申し込み URL ↓

<https://forms.gle/u45NvmyDSGGyV5aC8>

(QRコードと同じです)



10 参加費の送金 参加申込みとともに下記口座へお振込みください。

- ・12月17日までに振込してください。
- ・園で複数アカウントをお申し込みの場合は、アカウント分の参加費を合計してお振込みください。

銀行名：楽天銀行（0036） 支店：第二営業支店（252）

種別：普通 口座番号：7799786

口座名：特定非営利活動法人 全国認定こども園協会 岩手県支部

トクヒ）ゼンコクニンテイコドモエンキョウカイ イワテケンシブ

※振込手数料はお振込をされる方の自己負担でお願い致します。

※振り込み名の確認がしやすいよう、園名での名義記載にご協力お願いいたします。

※領収証は原則発行しませんので振込明細書又は支払受領書を領収証の代替えとしてご利用ください。どうしても必要な場合は下記お問い合わせ先にメールにて、宛名と金額を明記の上ご依頼ください。

11 お問い合わせ先 研修に関するお問い合わせは事務局までお願いします。

【事務局】 認定こども園こぼとこども園 内田 量樹

TEL 0197-25-8586

E-mail uchida.k45104@gmail.com

※次のページから事前資料と事前提出用の文書を添付しております。3枚目、4枚目は事前提出用のシートとなりますので、参加申し込みの施設にはあらためてデータにて配布予定です。研修参加を検討するさいの参考としてください。

「事故予防」？ 「育ちの価値」？ どれのことですか？

ところで、その「価値」は、「今の時代」「未就学期に」「園の責任で」「集団（保育）の中で」しなくてはならない価値ですか？ 成長発達科学や命の危険を無視した「良かれ」、成果主義の押しつけではありませんか？

〇印が今回の対象です（次ページも）

- これらのできごとには、成長発達の価値がたいていあり、「保育の質」にも直結する
- 自園の事例から、園の環境／人の条件のもと、価値とリスクの線引きを決めていく
- ケガをしたら「ダメなできごと」、ケガにならなければ「大丈夫なできごと」……ではない

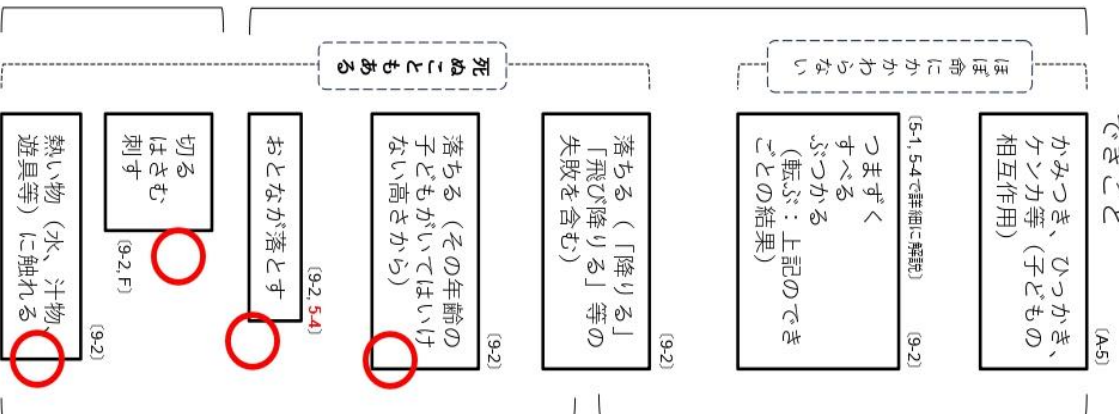
結果 (2-1)
ケガになった
ケガになりそうだった
ケガになるかも

起きた… または、
起こり得る…
「できごと」は
右のどれですか？

できごとから、結果
とその軽重を想定で
きない（例：何もな
い床で滑る）

受診の必要は？
(1-3, 5-1, 5-4, Y135, F)

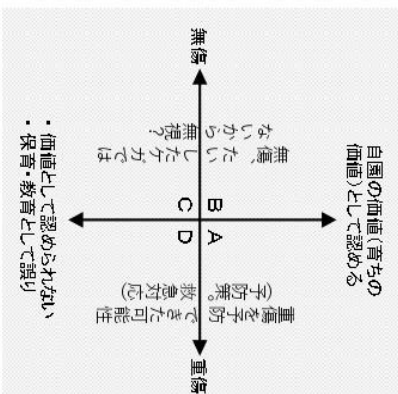
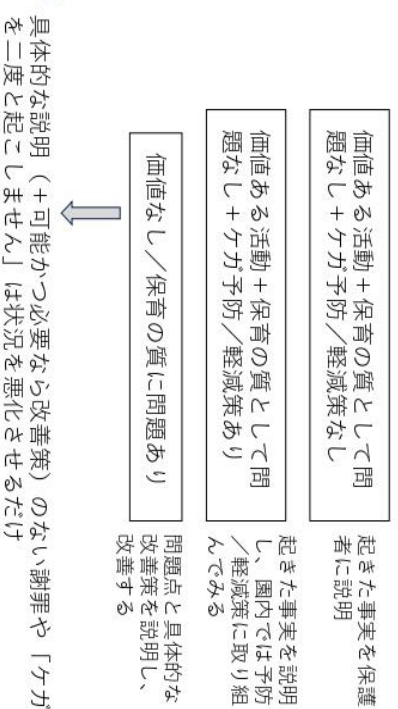
できごとから、結果
とその軽重を想定で
きる（例：重い扉の
蝶番に指をはさむ）



- あなたの園では、その時のできごとに至った原因である活動を、子どもの成長発達のための価値とみなしますか？
- その時のそのできごとに至った活動は、あなたの園の保育の質として、認められるものですか（月齢、天候、職員や子どもその時の状態等）？
- 価値、質とは別に、結果（ケガ）を予防／軽減できる具体的な方法がありますか？（※注意する、気をつける、見守る、声をかける等は「対策もどき」）

（ここに切れ目がある理由）
いつも飛び降りている園庭の投壘、5歳児が着地時、足を骨折→面直、質に問題なし
而上がり、でぬかるみ、泥も長時間という条件だった、面直と質の判断は？

- 成長発達の価値がないできごと
- ほぼすべて、結果（ケガ）を予防／軽減できる具体的な方法がある（「ガード教習」）



「事故予防」？ 「育ちの価値」？ どれのことですか？

ところで、その「価値」は、「今の時代」「未就学児期に」「園の責任で」「集団（保育）の中で」しなければならぬ価値ですか？ 成長発達科学や命の危険を無視した「良かれ」、成果主義の押しつけではありませんか？

できごと

命の危険大

息ができなくなった
息ができなくなる危なさ
(ハザード)がある

(2-1, 2-2, YT19~25, ハザード教室, 5-1)

できごとがなんであれ、結果(死亡、脳障害)を決めるのは「息ができない時間の長さ」

食事は避けられない

ハザード(物、環境)の
制御が可能

水中の異常にすぐ、必ず気づける方法はない

条件上、最も危険

喉か気管に食物が詰まる(誤嚥窒息)

喉か気管に玩具や物が詰まる(誤嚥窒息)

首が絞まる/押される(絞扼)(2-2, 5-3, F)

鼻と口がふさがれる(2-2, 3-1, 3-4, YT26, 27)

溺水(7)

条件上、最も危険

気道異物除去をしても、解除できない可能性あり

詰まりやすい材質、形状は明白

早く見つけさえすれば、息がでさないう状態を解除するのは容易

誤嚥：嚥下しそこねて、喉か気管にはさまっている(喉か気管が完全に詰まったら完全閉塞=誤嚥窒息)

誤飲：体内に入れてはいけないものを飲み込んだ状態(0歳のハチミツ、子どものアルコールも誤飲)

詳細は右

命の危険大

誤飲した
誤飲ハザードがある

きわめて危険なのは
・ボタン電池
・水でふくらむ玩具

(4-4)
・磁石
・体内で刺さるもの

左以外は健康観察、
便の観察

(4-1)

狭く、閉じられた場所に閉じ込められた
屋上園庭に閉め出した

命の危険大

(8-2, YT36, 37)

暑熱ハザード
(高温、高温)

取り残さないことが容易。「誰もいない！」声出し指差し確認を必ずする(職員の行動ルール★)

(YT10)

園の敷地から外へ出た
散歩中に見失った

・送迎時間帯は保護者の行動ルール★(B-2のひな型)
・パリア(鍵、パーテーション等)を増やして、敷地から出るまでに時間がかかると(職員が気づきやすい)ようにする。鍵は必ずかけ等、おとなのルール★
・散歩の見失いを防ぐ基本は、「子どもの数を減らす」(ハザード教室)
(YT12-15, 5-2, B-2のひな型, ハザード教室)

アレルギー源に曝露(誤食、
粉塵の吸入、接触等)

・診断書のない子どもが発症することもある
・「口にしない」以外の曝露経路もある
・製造/納入ミス、ヒスタミン食中毒は園の責任ではほぼはない(6附(1))

「口にしない」「食べる直前に気づいた」事例(=職員の行動ルールがすべて失敗)よりも、納品〜配膳に気づけた事例を活かす。行動ルール★が奏功しているとわかり、効用感も上がる(2-6)

〜し忘れ
〜し間違い

・人間の脳の基本は「ぼんやり」→「忘れる」「間違える」は当然(2-6)
・本人が気づける方法(声出し指差し確認等★)、他人が気づける方法を
・異物混入は「とにかく目視確認」ではない(6-1)
(2-3, 2-6, YT9)

★行動ルールは曖昧(×)気をつける、注意する(等)ではダメ。「誰がしても同じ行動になる」ように記述する=マニュアル(2-7)
(YT5)

人数確認は「いなくなつた」と気づく方法であり、気づいた時には手遅れかもしれない。対策は「いなくなつたようにする」「出ていけないうちに出ていけなく環境にする」

大前提2: 子どもの命を守るのとはおとなの責任。未就学児はまだ死を理解していない

危険と考えられる箇所やモノ（事務局提出期限：11月30日深夜。以降は受け付けません）

対応方法等はまとめて当日にお伝えします（園名は出しません）。

情報（大きさや幅。使う子どもの月齢等）が足りず、判断できない事例は取りあげません。

どんな場所？ どんなモノ？ 詳細は別紙一覧の各項についている「保育の安全」サイトに。過去10年間の事故事例も「保育の安全」サイトのそれぞれのできごとの「附」にまとめてあります。


<https://daycaresafety.org/>

例：「首が絞まる、押される」→「保育の安全」→「安全」5-3。

絞扼事故事例はその下の 5 附 (1) 絞扼事例

※1枚の写真のファイル・サイズは500キロバイト以下に縮小してください。

※環境であれモノであれ、大きさや幅を記入するか、モノサシ等を横に置くか、してください。

<p>場所。特定の年齢の子どもに関するものは、年齢必須</p>	<p>危険と考えられる箇所やモノの写真(必須情報:すき間は何センチのすき間か。誤嚥の危険のあるモノは大きさ。何歳児が使う場所、モノか)</p>
	<p>(この文章は削除してください。 矢印は危険な箇所を指す時に使ってください。 特に環境の場合、全体像と危険な箇所、計2枚あるとありがたく)</p> <p style="text-align: center;"></p>

危険と考えられる箇所やモノ（事務局提出期限：11月30日深夜。以降は受け付けません）

対応方法等はまとめて当日にお伝えします（園名は出しません）。

情報（大きさや幅。使う子どもの月齢等）が足りず、判断できない事例は取りあげません。

どんな場所？ どんなモノ？ 詳細は別紙一覧の各項についている「保育の安全」サイトに。過去10年間の事件事例も「保育の安全」サイトのそれぞれのできごとの「附」にまとめてあります。

<https://daycaresafety.org/>

例：「首が絞まる、押される」→「保育の安全」→「安全」5-3。

絞扼事件事例はその下の 5 附 (1) 絞扼事例

※1枚の写真のファイル・サイズは500キロバイト以下に縮小してください。

※環境であれモノであれ、大きさや幅を記入するか、モノサシ等を横に置くか、してください。

<p>場所。特定の年齢の子どもに関するものは、年齢必須</p>	<p>危険と考えられる箇所やモノの写真（必須情報：すき間は何センチのすき間か。誤嚥の危険のあるモノは大きさ。何歳児が使う場所、モノか）</p>
	<p>（この文章は削除してください。 矢印は危険な箇所を指す時に使ってください。 特に環境の場合、全体像と危険な箇所、計2枚あるとありがたく）</p> 